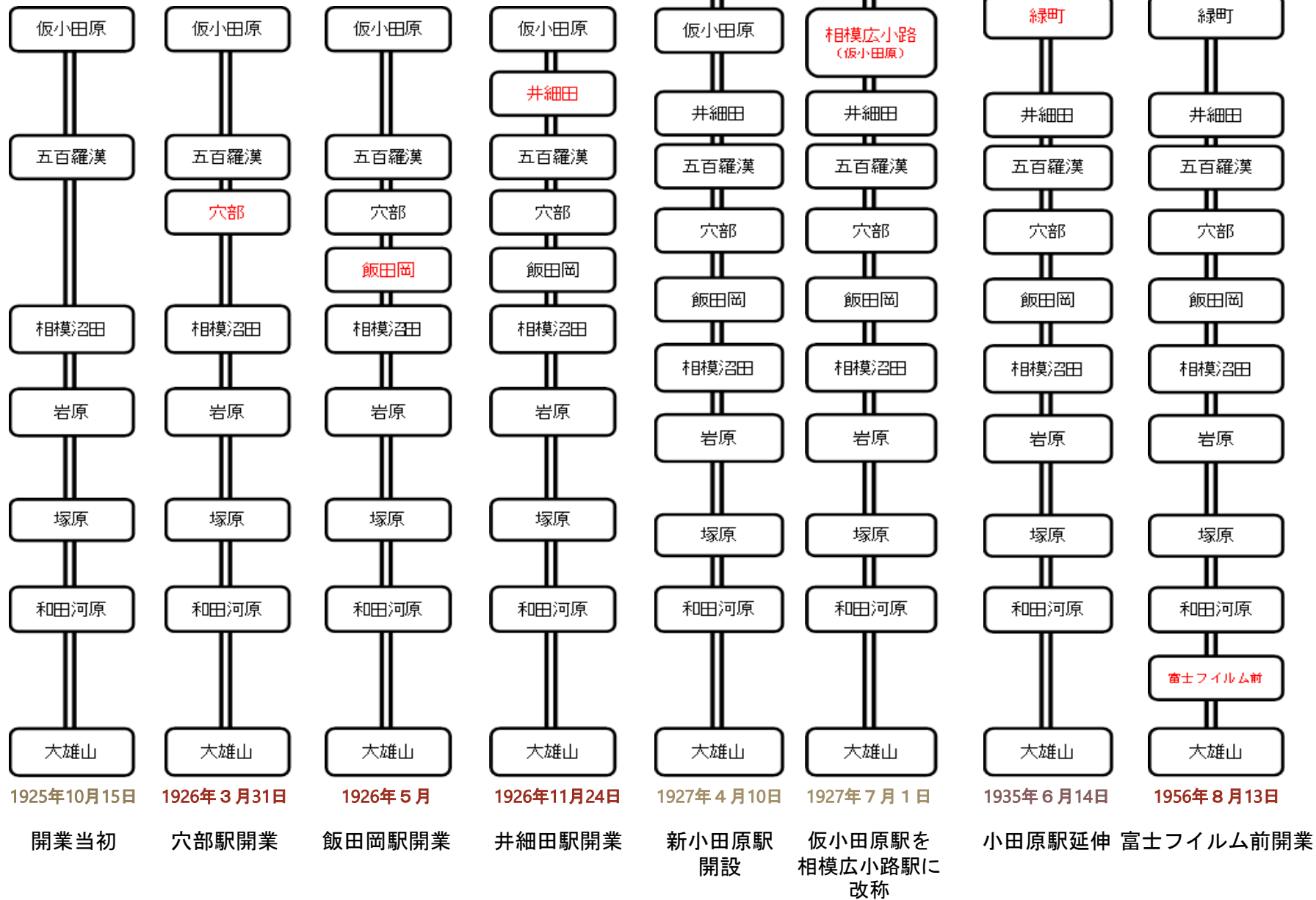


駅の紹介

駅の変遷



駅を紹介



小田原駅

副駅名 小田原とトモに。

ネーミングライツ締結企業

株式会社奥津建材

住所 神奈川県小田原市栄町1-1-5

開業日 1935年6月14日

特徴

- ・ 大雄山線は1・2番線
- ・ 1960年11月に2代目駅舎が完成
- ・ 2003年3月20日に現在の駅舎になる



現在の駅舎

駅の紹介



緑町駅

※ホーム1つ・1線の無人駅

副駅名

Be A Best Value Partner

ネーミングライツ締結企業

コムテック株式会社

住所

神奈川県小田原市栄町3-5-21

開業日

1935年6月14日

特徴

- ・旧町名「緑町」が駅名の由来
 - ・大雄山駅側の踏切先のカーブに列車が通過する際の摩擦音を緩和するための水を撒く装置がある
- ⇒カーブがきついため、車両の長さが1両18m（駿豆線は20m）



現在の駅舎

駅の紹介



井細田駅

※ホーム1つ・1線の無人駅

住所

神奈川県小田原市扇町3-21-1

開業日

1926年11月24日

特徴

・旧村名「井細田村」が駅名の由来
⇒小田原城の北の城門が「井細田口」



現在の駅舎

駅の紹介



五百羅漢駅

※ホーム1つ島式、上り下り2線の
列車交換駅で、係員は時間帯により配置

住所

神奈川県小田原市扇町5-11-10

開業日

1925年10月15日

特徴

- ・ 玉宝寺の「五百羅漢像」が駅名の由来
- ・ 駅の上が賃貸マンション
- ・ 駅舎は1945年1月完成
- ・ 1989年に現在の駅舎（4階建て）になる



現在の駅舎

駅を紹介



穴部駅

※ホーム1つ・1線の無人駅

副駅名

全ての人に働ける喜びを。

ネーミングライツ締結企業

株式会社リンクライン

住所

神奈川県小田原市穴部563

開業日

1926年3月31日

特徴

- ・ 旧「穴部村」が駅名の由来
- ・ 1925年の大雄山線開業当時は駅の工事中だった
- ・ 駅舎は1955年4月に完成
- ・ 駅周辺の見どころは久野1号古墳



現在の駅舎

駅の紹介



飯田岡駅

※ホーム1つ・1線の無人駅

住所

神奈川県小田原市飯田岡545

開業日

1926年5月

特徴

- ・ 町名が駅名の由来
- ・ 以下の最寄り駅
小田原フラワーガーデン
諏訪の原公園
- ・ 駅舎は1967年4月に完成



現在の駅舎

駅の紹介



相模沼田駅

※ホーム2つ・上り下り2線の
列車交換駅で有人駅

副駅名

足柄香粧(株)最寄り駅です

ネーミングライツ締結企業

足柄香粧株式会社

住所

神奈川県南足柄市沼田68

開業日

1925年10月15日

特徴

- ・ 1898年の刻印があるレールが
支柱に使用されている
- ・ 1981年2月17日 2代目駅舎完成



駅を紹介



岩原駅

※ホーム1つ・1線の無人駅

住所

神奈川県南足柄市岩原270-1

開業日

1925年10月15日

特徴

- ・ 塚原駅とは駅間距離が約300m
- ・ 開業当時は、貨物用の引込線があり、工事資材を運び込んでいた
- ・ 開業当時は駅舎がなかった



駅を紹介



塚原駅

※ホーム1つ・1線の無人駅

副駅名 安心の、小田原樹木葬てらす

ネーミングライツ締結企業

願修寺「小田原樹木葬てらす」

住所 神奈川県南足柄市塚原2680-1

開業日 1925年10月15日

特徴

- ・ 1981年3月18日に2代目駅舎供用開始と同時に塚原踏切道の大雄山駅側にあった駅舎やホームを小田原駅側に移し、ホームを直線にした
- ・ 元々の駅の場所は現在の駅北側の道路反対側（狩川鉄橋側）に駅があり、長さ25メートル、半径200メートルの曲線ホームだった。

⇒南足柄市道の道路整備事業に伴い移動



駅を紹介



和田河原駅

※ホーム1つ島式、上り・下り2線の
列車交換駅で、有人駅

副駅名

小田原紙器工業グループ
～持続可能な事業を推進します～

ネーミングライツ締結企業

小田原紙器工業株式会社

住所

神奈川県南足柄市和田河原583

開業日

1925年10月15日

特徴

- ・ 駅の上が賃貸マンション
- ・ 1949年6月駅舎完成
- ・ 1992年に現在の駅舎になる



駅を紹介



富士フィルム前駅

※ホーム1つ・1線の無人駅

住所

神奈川県南足柄市狩野60-1

開業日

1956年8月13日

特徴

- ・ 以下の最寄り駅
清左衛門地獄池
春木径
- ・ 駅舎は1967年7月完成



現在の駅舎

駅を紹介



大雄山駅

副駅名 夢をカタチに。

ネーミングライツ締結企業

株式会社下田組

住所 神奈川県南足柄市関本592-1

開業日 1925年10月15日

特徴

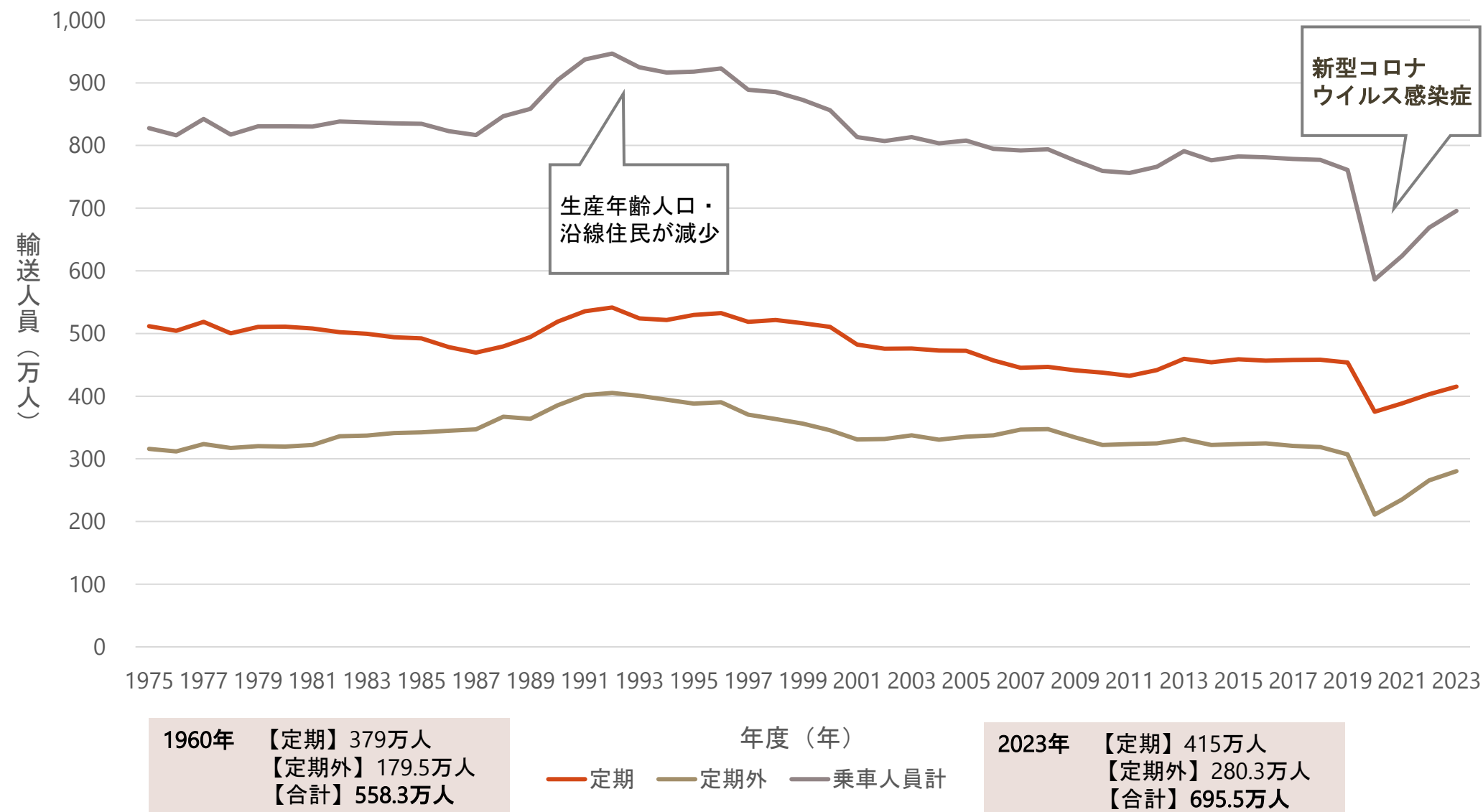
- ・ 駅舎は南足柄市有形文化財
- ・ 酒匂川の釣りの遊漁証を販売している
- ・ ホーム横の小さな池にいる亀が、同駅のシンボル
- ・ 発車メロディーが童謡「金太郎」
- ・ 「関東の駅百選」の一つ



現在の駅舎

乗降人員推移

大雄山線 輸送人員合計



開業当時と現在

	区間	車両数	運転時間	1日の運転回数	平均乗車人員	駅数	交換駅	運賃 (始発～大雄山駅)
1925年	大雄山駅～仮小田原駅 9.0km	3両	30分	28往復	62人	7駅	相模沼田駅	28銭
2025年	大雄山駅～小田原駅 9.6km	22両	21分	平日:71往復 土休日: 66往復		12駅	五百羅漢駅 相模沼田駅 和田河原駅	310円

【大正時代の物価】

とんかつ⇒20銭

ゴールデンバットのたばこ⇒14銭



開業当時

【開業当時】

- ・お客さまの8割が参詣客、2割が地元客
- ・定期券のお客さまは小田原の学校に通う村の裕福者の子弟

【現在】

- ・定期券約6割、定期外約4割
- ・定期券のお客さまは通勤・通学のお客さま